

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！現在、第2期生の選考中です！

知事と第1期生の懇談会

平成30年3月時点で海外挑戦を終え帰国した第1期生のうち6名（学生留学4名、スポーツ1名、未来の匠1名）が、知事と懇談し、今回の海外挑戦で得た学びや今後の目標についての帰国報告を行いました。

知事から「おかえりなさい！」と声をかけられ、場が和む中、懇談がスタート。第1期生6名からは海外でのワイン天然酵母の研究や現地ワイナリーヒアリング、ハラル認証現地調査の結果、アイヌ文様をデザインした衣装の個人展開催、アメリカにおけるスポーツとビジネスの結びつきの大きさなど、海外挑戦で得た学びについて報告が行われました。

また、ベトナムでのゲストハウス立ち上げを通して培った起業家精神を生かし北海道で起業したい、フランス三つ星レストラン等で学んだ酸や発酵の生かし方などをもとに新しい北海道のジビエ料理を作り上げ、後輩にも広めていきたいなど今後の目標を説明し、知事からは、第1期生それぞれに対し、北海道への貢献に期待しており、頑張ってくださいとエールを送りました。



第1期生帰国報告会

平成30年3月時点で海外挑戦を終え帰国した第1期生のうち6名が、基金を応援してくださっている企業等の応援パートナーや関係団体、大学等の応援会議構成員の皆様に、今回の海外挑戦で得た学びや今後の目標についての帰国報告と交流を行いました。

第1部では、辻副知事の挨拶のあと、応援パートナーズリーダーで、北海道ふるさと応援大使の、東日本旅客鉄道株式会社顧問の松田昌士様から、「いま若い人達が外に向かって出て行くということを浸っている。若い人達が各国を観て、交流をする取組をどんどん広げて欲しい。」とのお挨拶をいただきました。

その後、帰国者6名が、自らの学びや成長をスライドを使って報告しました。

第2部では、帰国者6名が一人ずつブースを設け、海外での活動の様子を撮影した写真や制作した衣装などの資料を展示し、応援パートナーの皆様に説明する、交流形式のポスターセッションを行いました。

応援パートナーズリーダーで、第1期生の面接審査員も努めていただいた（株）アミノアップ化学の小砂代表取締役会長からは、「皆さん非常にたくましくなって帰ってきた。チャレンジ精神を持った学生、社会人をどんどん海外に留学させていきたい。今後の北海道の未来の礎となる若者達の支援を我々がしていかなければならない。これからも北海道の産業、地域経済のために頑張ってください。」との激励をいただきました。



社会貢献の活動を通じた寄附の取組がスタートしました！

商品販売と連携した基金への寄附の取組がスタートしました。4月から日糧製パン(株)の自社主力商品「ラブラブサンド」シリーズ全品の販売1個につき1円を、基金に寄附していただきます。（対象期間：平成30年4月～6月（3ヶ月））

また、6月からは、アサヒビール(株)の、北海道限定新商品「ブラックニッカ ハイボール香る夜」（4/3発売）の販売と連携した基金への寄附の取組が始まります。（6～8月（3ヶ月）の販売1本につき1円を基金の「スポーツコース」に寄附いただきます。）

企業・団体の社会貢献の取組を通じ、売り上げなどの一部をご寄附いただくとともに、店頭広告などにより、当基金への応援を広くPRしていただけるこうした支援をさら広げていきたいと考えています。



スポーツコース

齊藤 雄大 さん アメリカ (テキサス州・アラバマ州)
 ~先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を~

障がい者スポーツ先進国アメリカで8月から1年間研修中。

3月18日からは、障害者スポーツチームを運営しているアリゾナ大学で新たに活動を開始しました。

大学チームながら社会人リーグに所属している特徴を持つこのチームで、車いすバスケットボールの練習に参加しながら、その特徴的な運営方法について学んでいます。



山 あずさ さん ニューージーランド (ハミルトン)
 ~本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献~

ラグビーの本場で11月から1年間、強豪クラブで自らプレーしながらコーチングを修得中。

3月は、ラグビーに毎日触れることで、ラグビーについて深く考えることができています。

チームの活動費などを集めるため、全選手が、個人に付くスポンサーを自らで探して資金調達していることを知るなど、チームの運営方法について、新たな学びを得ています。



文化芸術コース

西野 留以 さん アメリカ (カリフォルニア州)
 ~ダンスを通して北海道を明るく元気に~

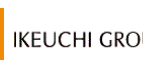
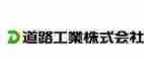
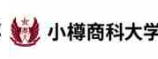
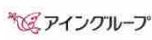
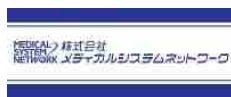
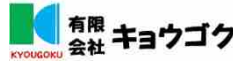
世界の様々なジャンルのダンスやスタジオ・ステージ構成を学ぶため、3か月の研修を終え帰国。

3月は、カリフォルニアのトランスにある、しらゆり幼稚園の子どもたちに、「イカのおすしダンス」(防犯標語を覚えやすいように工夫したダンス)を伝えました。



応援パートナーの皆様

(平成30年4月現在・敬称略)



有末 真哉 遠藤 光二 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 その他匿名希望の個人・企業2者

古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。(これまでの寄附 365人の方から3,102冊)

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



公式 Facebook ページ
 みらチャレ
 第1期生のチャレンジ風景
 をお届けします。

